

感染症発生状況

令和5年7月26日

各保育施設の長 様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

令和5年7月17日（月）～7月21日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は 2,690名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】629名 【職員】13名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】125名

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】症状別：熱（337名）、咳・鼻水（141名）、下痢・腹痛（38名）、嘔気・嘔吐（10名）

疾病別：ヘルパンギーナ（97名）、気管支炎・肺炎（16名）、胃腸炎（5名）、
流行性角結膜炎（4名）

【職員】症状別：熱（2名）、頭痛（2名）、下痢・腹痛（1名）

疾患別：新型コロナウイルス感染症（5名）

**ヘルパンギーナが猛威を振るっています。
さらにRSウイルス感染と新型コロナ感染が増え続けています。
皆様ご注意ください**

【症状別の発生状況】

ヘルパンギーナ 玉山地区、河北地区、盛南地区、河南地区で増加しました。

厨川地区、都南地区で減少しました。

気管支炎・肺炎 盛南地区で増加しました。玉山地区、河北地区、河南地区で減少しました。

胃腸炎 河北地区、河南地区で減少しました。

流行性角結膜炎 河北地区で増加しました。

【県の状況（7/10～7/16）】

ヘルパンギーナは5月中旬以降連続して増加し、今週の県内の定点あたり患者数は警報値の6人を超え18.50人となりました。本症は発熱とどの痛み、口内に現れる水疱性発疹を主症状とし、乳幼児を中心に夏季に流行するウイルス性の疾患です。今季、県環境保健研究センターの検査でコクサッキーウイルスA4を検出しています。予防には患者との濃厚接触を避け、手洗いやうがいを励行することが重要です。

手足口病は増加し、一関地区で定点あたり患者数が警報値の5人を超えています。口内や手足に現れる水疱性発疹が主症状の乳幼児を中心に夏季に流行する感染症です。まれに髄膜炎等を併発することがあり、高熱や嘔吐等がある場合は速やかに受診してください。予防にはヘルパンギーナと同様の対策が必要です。

新型コロナウイルス感染症は増加し、定点あたり患者数は6.98人となりました。県内でのクラスターの発生は4件で、その内3件は高齢者施設での発生でした。引き続き、手洗い・咳エチケット等基本的な感染予防対策の確認を行いましょう。

◆岩手県新型コロナウイルス感染症関連情報

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryuu/covid19/index.html>

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話613-8347（ダイヤルイン）ファックス652-3424】